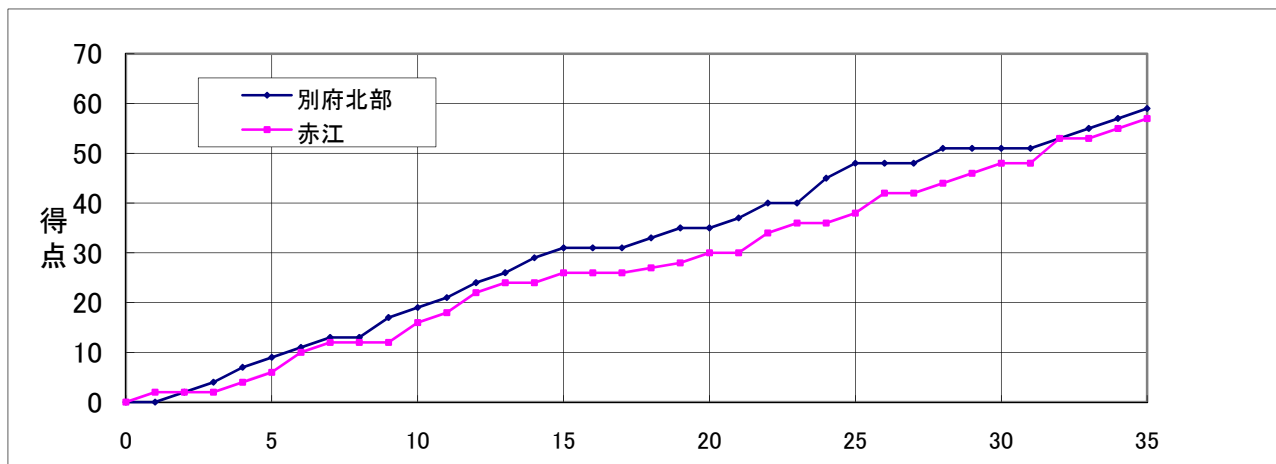


大会名	平成22年度 九州中学校体育大会 第40回九州中学校バスケットボール競技大会	A5	15:20	男子2回戦															
	期日	2010年(平成22年)8月6日(金)	別府北部 59 (大分1位) ○	<table border="1"> <tr><td>13</td><td>—</td><td>12</td></tr> <tr><td>18</td><td>—</td><td>14</td></tr> <tr><td>14</td><td>—</td><td>10</td></tr> <tr><td>8</td><td>—</td><td>17</td></tr> <tr><td>6</td><td>—</td><td>4</td></tr> </table>	13	—	12	18	—	14	14	—	10	8	—	17	6	—	4
					13	—	12												
18	—	14																	
14	—	10																	
8	—	17																	
6	—	4																	
会場	大分県立総合体育館	●	57 赤江 (宮崎1位)																

主審 森田 将史 副審 野田 明男



1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
—	31:31 31:37 31:56	34:54	—

別府北部							
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	
4	* 西山 海渡 (C)	20	1	6	5	4	
5	* 糸 永 成志	14	0	7	0	5	
6	佐藤 大 熙	—	—	—	—	—	
7	椎葉 慶道	—	—	—	—	—	
8	* 岡本 康汰	2	0	1	0	2	
9	* 熊谷 航	14	4	1	0	3	
10	* 阿部 駿太	6	1	1	1	1	
11	大野 佑也	—	—	—	—	—	
12	川原 一仁	3	0	1	1	1	
13	節川 翼	—	—	—	—	—	
14	森本 勘太	—	—	—	—	—	
15	伊澤 大樹	—	—	—	—	—	
16	佐藤 圭一郎	—	—	—	—	—	
17	木之元 雄耶	—	—	—	—	—	
18	南木 辰海	—	—	—	—	—	
コーチ	安藤 剛						
合計		59	6	17	7	16	

1Q・2Q	3Q・4Q	OT1	OT2
15:22	30:41 31:52	—	34:53

赤江							
No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	
4	倉永 誠也	0	0	0	0	1	
5	岩切 蒼	—	—	—	—	—	
6	* 大岩本 峻 (C)	4	0	2	0	1	
7	* 宮崎 悠大	25	0	10	5	2	
8	* 熊瀬川 崇広	16	0	7	2	5	
9	* 松浦 義仁	1	0	0	1	2	
10	* 松浦 翔太	11	0	4	3	3	
11	久永 翔太	—	—	—	—	—	
12	櫻屋 透真	—	—	—	—	—	
13	川越 北斗	—	—	—	—	—	
14	川越 隼斗	—	—	—	—	—	
15	長友 陸	—	—	—	—	—	
16	畑中 瑞貴	—	—	—	—	—	
17	熊瀬川 照博	—	—	—	—	—	
18	河野 亮太	—	—	—	—	—	
コーチ	湯徳 良子						
合計		57	0	23	11	14	

\*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

## 戦評

2回戦第1試合は、大分県代表別府北部中と宮崎県代表赤江中の対戦となった。立ち上がり、両チームともにマンツーマンディフェンスでスタート。北部中は、早いタイミングでボールマンにプレッシャーをかけミス誘う。赤江中は、高さをいかして、リバウンドを支配し、開始3分間は、両チームともなかなか得点に結びつかない展開となった。

1Q残り4分、北部中は誘ったミスから連続ドライブで得点を重ねる。対する赤江中は、#7宮崎や#8熊瀬川のツインセンターを中心にポストプレーで得点を伸ばす。両チーム一進一退の攻防で、13-12で1Qを終了する。

2Q北部中は、オールコートマンツーマンでオフェンスミス誘い#12川原のドライブ、#9熊谷の3Pで得点を重ねる。赤江中も1-2-2のマッチアップゾーンで対抗。オフェンスでは、ポストプレーを中心にした攻めと、#10松浦のミドルシュート、#6大岩本のドライブで応戦。31-26と北部中が5点リードで、前半を終了した。

3Q北部中は、インサイドへのドライブを利用して、赤江中のファールを誘う。赤江中#8熊瀬川が4つ目のファールで交代すると、#9熊谷から#4西山、#5糸永へとパスを回してリング下のシュートを決める。その後ドライブを中心に攻撃を組み立て、流れを引き寄せようとする。赤江中は、#7宮崎のローポストからの1on1で得点を狙う。北部中のチームファールが5本に達し、#10松浦のドライブやフリースロー等で得点する。45-36で3Qを終了した。

4Q赤江中は、#8熊瀬川をコートに戻し高さを活かして、#10松浦のドライブとツインセンターのポストプレーで、3連続ポイントを決め46-42と得点差を縮める。北部中も、必死にディフェンスをかため、#9熊谷や#10阿部の3Pで逃げ切りを図る。残り3分、赤江中は#7宮崎にボールを集め確実に加点していく。北部中は、残り2分15秒から1分19秒までオフェンスリバウンドを支配しボールをキープし続ける。その後、赤江中の攻めに対して、北部中#5糸永の見事なブロックショットが決まり、#7宮崎のシュートを防いだ。

残り29秒で赤江中がタイムアウト。赤江中#8のシュートが決まり1点差になった残り23秒で、北部中がタイムアウト。北部中はストリングを図るが、残り8秒で赤江中ボールとなる。赤江中#8がファールをされながらリング下のシュートを決めて逆転。フリースローも決まり、残り4秒で赤江中が2点差をつける。北部中は、#4西山がドライブでファールを誘いフリースローをもらう。2本とも決め、53-53の同点となり、延長戦に突入した。

延長開始直後、北部中#4西山がシュートをきめる。赤江中#8熊瀬川のリング下のシュートで同点にする。その後、北部中#5糸永のリング下のシュート、赤江中#7宮崎のミドルシュートで得点し、お互い譲らない展開が続く。残り14秒で、北部中#4西山ドライブに対し赤江中がファールをする。フリースローを1本決め、1点リードする。両チームとも退場者を出す激しい攻防のすえ、北部中が2点差を守り勝利した。お互い譲らず、最後までボールを追いかける姿は、見るものを感じさせた。

| 記載者 | 前田、吉田 (所属) 大分県中体連バスケット専門部